

## 第1節 都市づくりの理念と目標

旧町で策定した都市計画マスタープランでは、以下のような将来都市像が定められていました。そして、これらの都市像に込められている思いは、「住民の豊かな生活・暮らしを実現する」ことにありました。

旧加治木町	：みんなで育む快適で活力ある都市・加治木
旧始良町	：暮らし豊かな広域生活拠点都市・あいら
旧蒲生町	：日本一の田舎ぐらし都市

平成24年3月には、「旧加治木町」「旧始良町」「旧蒲生町」の合併により誕生した始良市の目指すべき総合的な行政目標として「第1次始良市総合計画」が策定されました。

この中には、「県央の良さを活かした、県内一暮らしやすいまちづくり」を基本理念として、“自然災害から市民を守り、県央に位置する利便性や、自然の恵み、豊富な人材を活かしながら、都市的な機能と田園が融合したまちとして、本市の持つ潜在的な可能性を活かし、持続的に発展させる”ことが定められています。

このような方向性は、旧町の都市計画マスタープランの方向性や、総合的なまちづくりの課題で整理した内容と合致しており、“市民の豊かな生活を実現すること”をまちづくりの目標とすることが望ましいと考えられます。そこで、

### 「自然豊かで快適な暮らしを発信する県央都市 あいら」

を、始良市都市計画マスタープランにおける将来都市像として掲げ、次の3つを都市づくりの施策展開の目標とし、市民と行政が協働して実現していきます。

#### ●誰もが安全、快適に暮らせる都市

都市づくりに対する社会的要請は、少子・高齢化の進行や意識の多様化・成熟化等の社会情勢の変化や大規模な地震発生への不安感の高まり等に対応して変化してきており、これまでの都市づくりに加え、やさしさ、潤い、安心、ゆとり等の、人の内面的な豊かさを実感できる都市づくりや安全で快適な都市づくりが求められています。

良好な住宅・住環境の整備、人にやさしい都市環境の整備、地震等の災害に強い都市環境の整備、良好な景観整備等の取り組みにより、誰もが安全、快適に暮らせる都市づくりを目指します。

#### ●活力を育み、発展する都市

本市は恵まれた交通条件や自然・歴史文化資源、都市的集積を有しています。まちの活力を育成していくためには、これらを活かして産業活動や人々の交流を活発にすることが重要です。

交流の拠点づくりと、それぞれの交流拠点を結ぶネットワークを強化することにより、都市の活力を育み、発展する都市を目指します。

#### ●歴史文化・自然環境を大切にし、活かす都市

本市の豊かな歴史的文化的資源や豊かな水や緑等の自然環境は、先人のたゆまない努力により育まれてきた大切な財産です。この大切な財産を後世に残し伝えていくためには、これまでの取り組みに加え、二酸化炭素の削減等の地球規模の環境問題にも対応をしていくことが必要となっています。

自然環境の保全に加えて、環境への負荷の小さい低炭素社会の構築に向けた取り組み等により、歴史文化・自然環境を大切にし、活かす都市づくりを目指します。

## 第2節 人口の目標

平成17年（2005年）から平成22年（2010年）の間の社会移動傾向が将来にわたって続いた場合、総合計画の目標年次である平成30年（2018年）までには73,100人程度、都市計画マスタープランの目標年次である平成44年（2032年）までには67,800人程度に人口が減少することが推計されます。

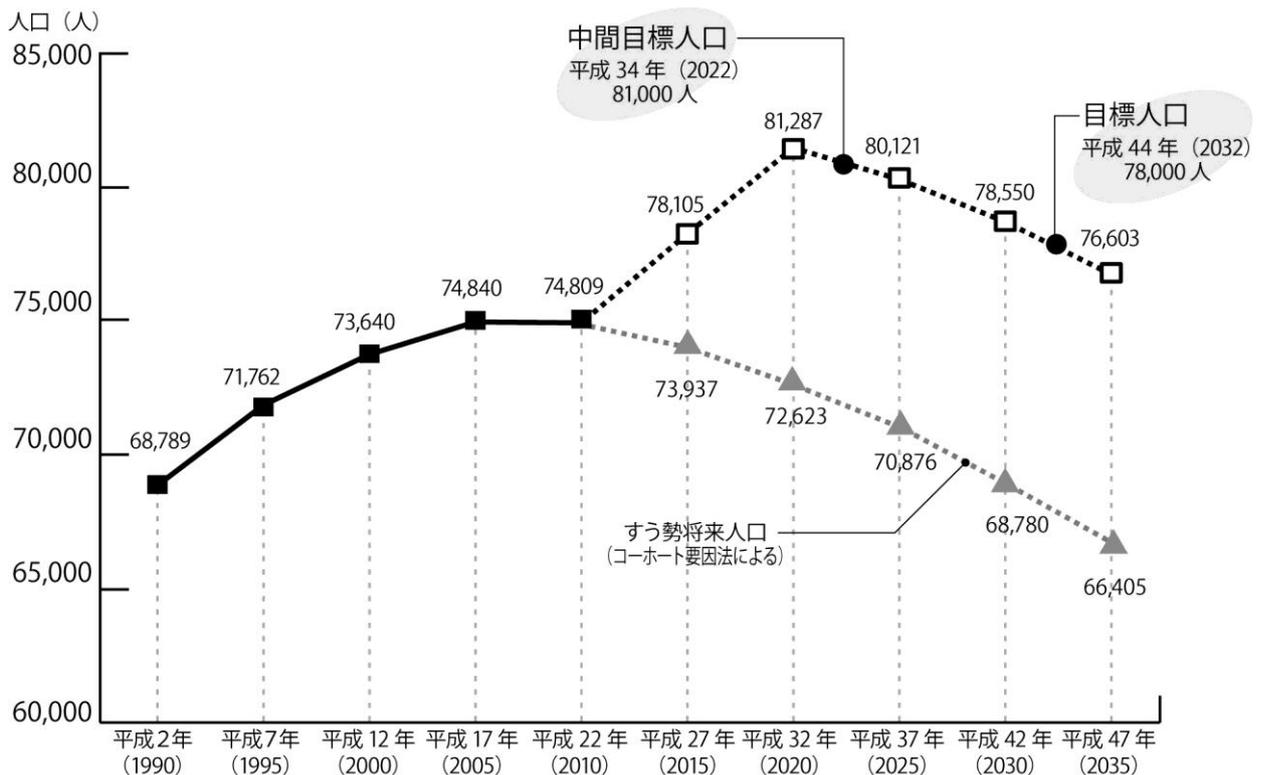
このすう勢将来人口に、企業の立地促進による増加人口、住宅地開発による増加人口、社会移動傾向の改善による増加人口を加え、将来の目標人口を推計しました。

基準年次を平成24年（2012年）、目標年次を平成44年（2032年）及び中間目標年次を平成34年（2022年）とした本市の将来人口とその年齢構成、及び世帯数を、以下のように設定します。

### ●将来人口

項目	年	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成34年 (2022年)	平成44年 (2032年)
総人口（人）		74,840	74,809	81,000	78,000
年少人口〔0歳-14歳〕		14.8%	14.2%	14.1%	12.5%
生産年齢人口〔15歳-64歳〕		61.3%	59.9%	56.0%	55.7%
老年人口〔65歳以上〕		23.9%	25.9%	29.9%	31.8%
世帯数（世帯）		29,496	30,478	33,600	33,200

※平成17年、22年は国勢調査の実績値



## 第3節 将来都市構造

### 1 土地利用の枠組み

本市では、思川水系思川・別府川水系別府川・網掛川水系網掛川・日本山川水系日本山川の4つの主要な河川が流れ、これらの流域に沖積平野が形成されており、農地や市街地として利用されています。そして、その外側は山地、海となっており、市民に豊かな自然の恵みと潤い等を提供しています。

このような地形と土地利用は、これまで本市を支えてきた基礎的な財産であり、今後ともこの地理的好条件を活かし守っていく必要があります。

#### 〔河川に沿った平野〕

河川に沿った平野は、中心市街地や集落地、農地として利用され、生活空間と産業活動の中心的な場所となっています。

今後とも、都市的な土地利用と自然的な土地利用と調和を図りながら、生活や産業活動の基盤として適切な利用を図っていきます。

#### 〔山地〕

河川に沿った平野の外側には、豊かな森林が広がっています。また、豊かな自然を背景に集落が形成されています。これらの森林は雨水の涵養と酸素の供給に加えて、林業やレクリエーションの場として活用され、また河川に沿った平野を縁取る緑として、多様な役割を果たしています。

自然と共生した都市を目指し、今後ともこれらの貴重な財産の保全と適正な管理・活用を進め、その機能を維持・強化していきます。



## 2 交流や活動の拠点

次のような交流や活動の拠点を配置し、育成していきます。

### 〔都市中心拠点〕

始良市役所、加治木総合支所、蒲生総合支所及びその周辺を都市中心拠点（加治木総合支所、蒲生総合支所は副次的な中心拠点）として位置づけ、ユニバーサルデザインに配慮して、生活支援機能・公共公益機能及び商業機能の強化、道路歩道等の基盤施設、景観整備等を進めます。

### 〔鉄道駅周辺部都市生活拠点〕

鉄道駅周辺部を良好な都市ネットワークを支える駅周辺都市生活拠点として位置づけ、広域交通の結節点である駅の利便性向上や周辺における商業機能・歩行空間の整備等を推進・強化します。

- ・始良地域：JR帖佐駅周辺、JR始良駅周辺、JR重富駅周辺
- ・加治木地域：JR加治木駅周辺、JR錦江駅周辺

### 〔地域・集落生活拠点〕

生活圏のまとまりに対応して、地域住民の生活と地域間交流を支える生活拠点を位置づけ、身近な生活利便施設や小学校区レベルの公共公益機能の集約・維持等に努めます。

- ・始良地域：北山、木津志、三船、帖佐、山田、朝日ヶ丘周辺、西始良、池島
- ・加治木地域：竜門、永原
- ・蒲生地域：漆、西浦、大山、新留

### 〔都市行政文化拠点〕

市役所や国・県の行政施設、文化施設及びその周辺を、都市行政文化拠点として位置づけ、公共公益施設間の連携を強化する基盤整備と地域景観の保全・機能の強化に努めます。

- ・始良地域：始良市役所周辺、始良警察署移転予定地周辺、始良市役所重富出張所周辺、スターランドAIRA・北山伝承館周辺
- ・加治木地域：加治木総合支所周辺、始良・伊佐地域振興局・加治木税務署周辺、鹿児島地方検察庁・加治木簡易裁判所周辺、加音ホール周辺、龍門陶芸健康の里周辺
- ・蒲生地域：蒲生総合支所周辺

### 〔商業業務交流拠点〕

中心的な商店街や大規模集客施設等の市民の生活を支える商業機能及び市の特産品の販売施設や研修施設等の広域的な交流機能の集積及びその周辺を、商業業務交流拠点として位置づけ、商業業務施設の利用拡大、商業施設の誘致、観光交流施設の整備・利用拡大に努めます。

- ・始良地域：県道下手山田帖佐線と九州縦貫自動車道の交差点周辺
- ・加治木地域：かもだ通り商店街、ソレイユタウン加治木
- ・蒲生地域：市道町通線沿道、フォントナの丘かも、蒲生物産館

### 〔工業・物流拠点〕

整備済みの工業・物流用地の操業環境の保全と周辺住宅環境との共存機能の維持・保全を図るとともに、工業基盤の整備推進と情報提供等企業誘致に努めます。

- ・始良地域：三拾町工業団地、中津野工業流通業務地、平松物流用地
- ・加治木地域：木田（弥勒・塩入）、須崎公共用地
- ・蒲生地域：下久徳（早馬）

### 〔歴史と文化の拠点〕

指定文化財に指定されている文化財の中で、以下のような史跡や名所・建造物といった歴史的・文化的遺産の周辺を歴史と文化を伝えるとともに観光交流を支える歴史と文化の拠点として位置づけ、歩行空間等の景観整備や駐車場・休憩所・案内板等の利用しやすい環境整備や文化財保護等に努めます。

- ・始良地域：帖佐八幡神社周辺、山田の凱旋門周辺、臥竜梅周辺、宮田ケ岡瓦窯跡周辺、建昌城跡周辺、岩剣城跡周辺、平松城跡周辺、大口筋白銀坂周辺
- ・加治木地域：加治木島津家屋形跡周辺、大口筋龍門司坂周辺
- ・蒲生地域：武家屋敷群、蒲生の大クス周辺、城山公園周辺、掛橋坂

### 〔海を活用するレクリエーション拠点〕

霧島錦江湾国立公園重富海岸、重富漁港及びその周辺を、海を活用するレクリエーション拠点として位置づけ、なぎさ公園の親水施設や散策道路・砂浜等の維持管理や保全を行うことにより、親しみやすい海辺や利用しやすい環境整備を進めるとともに、雄大な桜島の眺望と合わせた海洋性レクリエーションの地域や水辺の交流拠点としての機能を育成します。

また、霧島錦江湾国立公園重富海岸や須崎海岸等の環境保護と景観保全に努めます。

- ・始良地域：霧島錦江湾国立公園重富海岸、重富漁港、なぎさ公園他
- ・加治木地域：須崎海岸

### 〔緑を活用するレクリエーション拠点〕

豊かな緑の環境を活かしたレクリエーション施設を、自然環境保全の意識向上や豊かな自然環境と触れ合うことのできる緑を活用したレクリエーション拠点として位置づけ、環境の保全・維持・利用強化に努めます。

- ・始良地域：県民の森、J Tの森、北山野外研修センター
- ・加治木地域：さえずりの森、高岡公園、龍門滝、ゴルフ場
- ・蒲生地域：住吉池公園、ゴルフ場

### 〔スポーツ・レクリエーション拠点〕

市民の体力の維持強化や競技活動のできる施設、イベント・レクリエーションのできる施設等を、スポーツ・レクリエーション拠点として位置づけ、健康や自然とのふれあいへの関心の高まりに対応して、その環境の維持・強化に努めます。

- ・始良地域：始良市総合運動公園、サポーランドパーク始良、船津公園
- ・加治木地域：加治木運動場、高岡公園
- ・蒲生地域：大楠運動公園球技場、蒲生体育館

### 〔新たな活力創造拠点〕

まとまった一団の土地を、今後本市の活力を創造していく新たな活力創造拠点として位置づけ、機能導入や基盤整備の方向性を検討し、具体化を目指します。

- ・加治木地域：港町、高岡用地

### 3 都市の軸

次のような都市の軸を配置し、軸の機能を強化していきます。

#### 〔交通軸〕

##### ●広域交通軸

本市と周辺の主要な都市を連絡する国道、主要地方道等を広域交通軸として位置づけ、拡幅整備等により市内外のネットワークの確立と災害時のライフライン機能の強化をします。

- ・始良地域：九州縦貫自動車道、国道10号、主要地方道伊集院蒲生溝辺線、主要地方道川内加治木線、主要地方道麓重富停車場線・市道重富停車場線、県道十三谷重富線・県道堂山宮之城線
- ・加治木地域：九州縦貫自動車道、単人道路、国道10号加治木バイパス、主要地方道伊集院蒲生溝辺線、主要地方道栗野加治木線、主要地方道隼人加治木線、主要地方道川内加治木線
- ・蒲生地域：主要地方道伊集院蒲生溝辺線（蒲生バイパス）、主要地方道川内加治木線、県道浦蒲生線・県道下手山田帖佐線

##### ●都市交通軸

交流や活動の拠点を支え、都市の骨格を形成する主要な都市幹線道路を都市交通軸として位置づけ、整備促進や拡幅整備等により機能の強化に努めます。

- ・加治木地域：中部地域横断道路、鉄道南側加治木・始良連絡構想線
- ・始良地域：中部地域横断道路、鉄道南側加治木・始良連絡構想線、始良インターチェンジ・船津構想路線、北部新市街地横断道路

※主要な新規道路のみ記載

#### 〔国道沿道広域都市軸〕

国道10号及び国道10号加治木バイパスと旧国道の沿道を国道沿道広域都市軸として位置づけ、適正な都市機能を誘導し、始良・加治木地域の南部市街地の背骨を形成します。

#### 〔水の軸〕

思川水系思川、別府川水系別府川、網掛川水系網掛川、日木山川水系日木山川等の河川や海岸を水の軸として位置づけ、河川・海岸周辺部の環境の保全、親水化により、水を活かした景観と交流の場を育成します。

#### 〔山の辺の環境軸〕

平野と山地の境界部の緑地を山の辺の環境軸として位置づけ、緑地の保全や歩行ルートの整備に努めます。



◆都市構造図

〔土地利用の枠組み〕

- 河川に沿った平野
- 山地
- 市街地

〔交流や活動の拠点〕

- 都市中心拠点
- 鉄道駅周辺部都市生活拠点
- 地域・集落生活拠点
- 都市行政文化拠点
- 商業業務交流拠点
- 工業・物流拠点
- 歴史と文化の拠点
- 海を活用するレクリエーション拠点
- 緑を活用するレクリエーション拠点
- スポーツ・レクリエーション拠点
- 新たな活力創造拠点

〔都市の軸〕

- 水の軸
- 山の辺の環境軸
- 国道沿道広域都市軸
- 広域交通軸
- 都市交通軸
- 鉄道・駅

0 500 1000 2000m